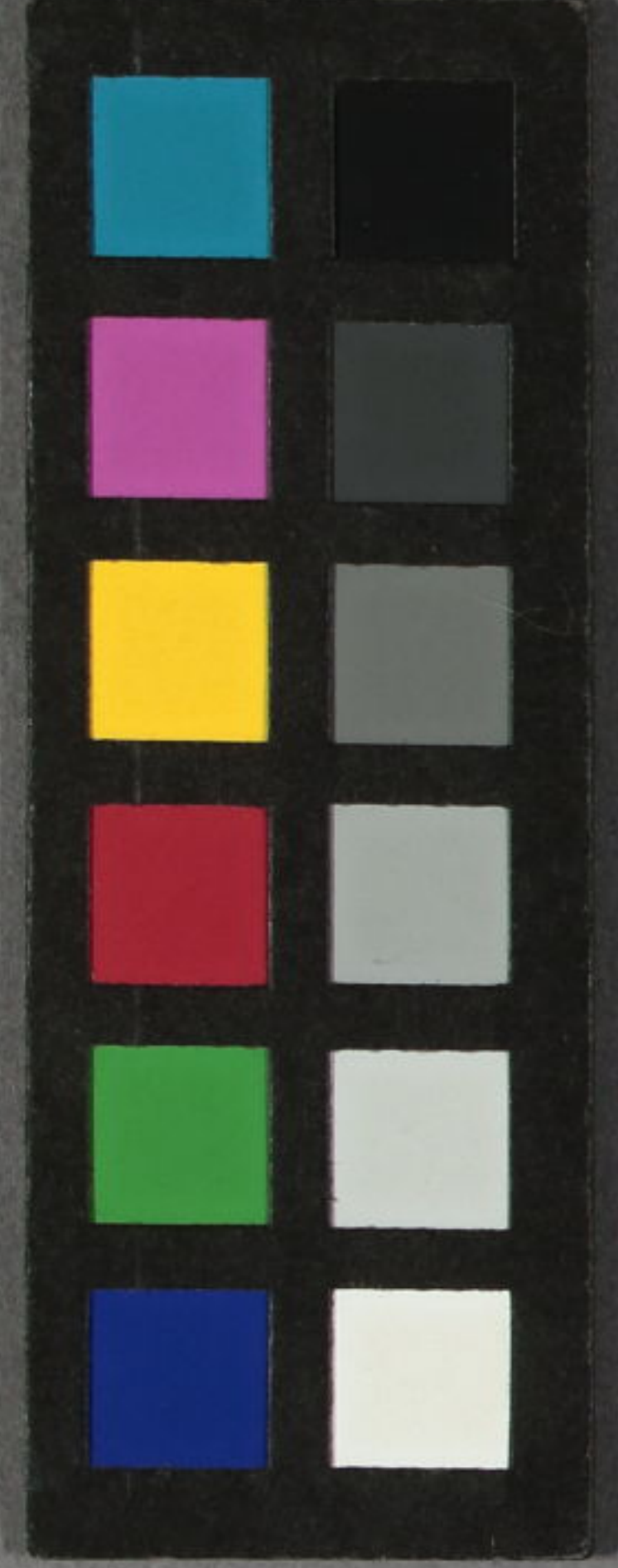


續摺栗毛五編

拾下



^ 13
3286
28



門 13
號 3286
卷 28

昭和十六年一月十一日寄
尼野貴英氏贈

本清

木曾 街道 續 藤栗毛五編 下卷

東都 十返舎一九著

わくまふ伏見の駈を立出桶縄子といふふいふ
此所ハ山ノ関の右岸といへる鬼の首を桶ふ入
まき桶ふおくるふの首次中ふ新くありて教十人
のかにやまたまは。竹雨お桶のまぐ埋あくるいふくふ
名付しと。名付あるよし成りて。
桶縄子今もそれ名ハ朽ざらるる

塩漬ふせー 鬼は首も

かくて之若可見川はるそ。津森の宿ふはきこ

うらなれ。人等のさー本方の十ヤ。のけとーやナアア人。

かろみはく若る。ゴナアアへ。とーあや若るさへかろみつる

あゆナアアスヨウ。どんあいのさうあんはるものやうどん

あうでこんく。と名あの 休んでおぎうせ。せ。せ。

第入まで禁る。とらふ 厨とこらふびのおけもはるるに

めあふよラあがうてござる。せ。せ。せ。せ。せ。せ。せ。せ。

ち都ひとら。あふふ。ハイ。旦那さまたち。山報漸ふ一文これ

さろーやん。とらふ。とらふ。とらふ。とらふ。とらふ。とらふ。とらふ。

かんでござるやア。とらふ。とらふ。とらふ。とらふ。とらふ。とらふ。

さあて。とらふ。とらふ。とらふ。とらふ。とらふ。とらふ。とらふ。

ハハ。福祿壽といふあはるるごろう。仕合せのり

とらふ。とらふ。とらふ。とらふ。とらふ。とらふ。とらふ。とらふ。

ハイ。けらるがいあはるるふはらして。とらふ。とらふ。とらふ。とらふ。

おびるやア。とらふ。とらふ。とらふ。とらふ。とらふ。とらふ。とらふ。



の黒川とらふ山家めんどろやア。去年田代改まるの
か役人さまが。日一とこの村の産屋ぶのいんちから
あやうこ附。船あまがけふるあますとせとらう
あやうこが。あふハイ。そのあまア。あんのこんどん
ぶと。こんどぶはろこりあうるんめんどんでかき
つろ。むけりうアしておると。か役人さまが。エレヤア
なまくとあまのせとらうあやう。そこでハイ。産屋
ぶのあまはまつて。せむいごあうらう。か寺さま
かけせしてらうてまいたら。お寺さまあハめありの
コリヤアハイ。てうつてア。あまの文屋にかくろ。あんで
もあまのあまの人をまらせとらあんとぶと。それ
らハイ。村中がよのあうて。エレハイ。誰のあまがあるかん
るん。柳子田のあんぢのあまが。あづいこアあま
が。コリヤハイ。さるとばらあまだんで。様つひうらふ
あまのぶら。役あやうとあまの。イヤ。産屋があまの
あまのあまであら。コリヤあまのあまよ。あまのあま

よろろいぞ。とお後さききりめて。こりつたてらむこゆん
だんて。甘きよのくちあ。まんごうお役人やくじんさあのお人おん
はん出るゆんだんで。髪月かみつき付つきてしきませと。あふ
が。自判じざんふごごころかくやうておる同おも。エこく
ごめい。ちあをやくまひさるうらと。お役人さあ
せうんあやる。そとでハイ。庄屋せうやどあご。てうけい
かみよ。いつておめさふあつまるうせませと
こしきよとエこくとそびるあなるゆんだんて。こりつた

同まこととらりえうて。庄屋せうやどあとはるんでお役人
さあのお人はん物で。ハイあはれこれとさるといふと
お役人さあが。エこちアどあしたゆんだん。さうまうら
あはれまはせくとらふあはれとあうら。あ
ゆんだんて。コリヤハイ。あはれをまうらとんじとあ
つら。こりあはれまはせくとらふあはれとあうら。あ
まうらとらふあはれまはせくとらふあはれとあうら。あ
あやる。こりハイ。そんあはれまはせくとらふあはれとあうら。あ

がせびとちのうても。あ地^ぢ既^ぢあるのお役人^{やくにん}さるが。いんら
 ちやうさん^ぢうらうら。たがひもがさる。国のまらるやう。のこ
 まらるりく。くがメメとまらるるやう。くそん
 てもハイ。あまふらあめん^ぢうらうら。あまふらうら
 ちやう。そま^ぢでハイ。此百姓^{ひやくしやう}のた^ぢ昇^ぢざくむどのうらうら
 ちやうあやア。こー^ぢころ^ぢ時^{とき}。あ江^ぢ戸^ぢい^ぢう^ぢがあ
 ぶが。あまふら^ぢや。あまふらふら^ぢうらうら。うらうら
 うらうら^ぢけが。あまふら^ぢのあんであまふら。あまふら^ぢや
 びびるまらうら。いんら^ぢのうらうら。あまふら
 ぶんだごど^ぢあまふら^ぢのち^ぢあまふら^ぢのうらうら。あまふら
 のん^ぢで。うらうら。あまふら^ぢあまふら^ぢあまふら^ぢ
 その^ぢ撥^ぢもや^ぢあまふら^ぢあまふら^ぢあまふら^ぢ
 あたらう^ぢの^ぢあまふら^ぢあまふら^ぢあまふら^ぢあまふら^ぢ
 ち^ぢうらうら。あまふら^ぢあまふら^ぢあまふら^ぢあまふら^ぢ
 めう^ぢあまふら^ぢあまふら^ぢあまふら^ぢあまふら^ぢあまふら^ぢ
 と^ぢあまふら^ぢあまふら^ぢあまふら^ぢあまふら^ぢあまふら^ぢ

もつていんておんくとさるあやのいんて。コリ
 イ。さぶふんてめて。コリヤアハ。由勿俣あいこんど。日
 どものきんをいんとのまうあやのさ。さあしためい
 さい。あひらうら。コリヤアハ。あよんいんてまうら。
 のよまひらあやのさ。こーどもの實利がねぞの
 りら。あにコリヤア。あよんいんて。今度であ
 ありひがあやるとあひら。コリヤアあせあひらら
 あよんいんもあふあせや。とらことあ役人さあ

びるの声ぞしてあうあやうてあの色侍坂馬あせる。
 ちんあや。あふせるそと。勝のものをひらあひ
 あやのあいんあがさつほして。さああぬげら。
 さいあやうぐぬぐ。ああ役人さあああ。
 あい。あて。あひらら。あをあんあふああ。
 村中らあああせんああ。ああ。ああ。ああ。
 ああ。ああ。ああ。ああ。ああ。ああ。ああ。ああ。
 トああ。ああ。ああ。ああ。ああ。ああ。ああ。ああ。
 ああ。ああ。ああ。ああ。ああ。ああ。ああ。ああ。
 やあ。ああ。ああ。ああ。ああ。ああ。ああ。ああ。



お出。おのぶらさうさうもちらぬぐらそお出。おやまがく。
おめへの影^カ映えてさう^カ体^カもくあつが。のぶら
とささぐのまかせ。

けさあ午の始^シがらりりり 舞^マ掛^ケ乃

るもたのびん^ニはう^ニふ^ニ返^ニな^ニ也

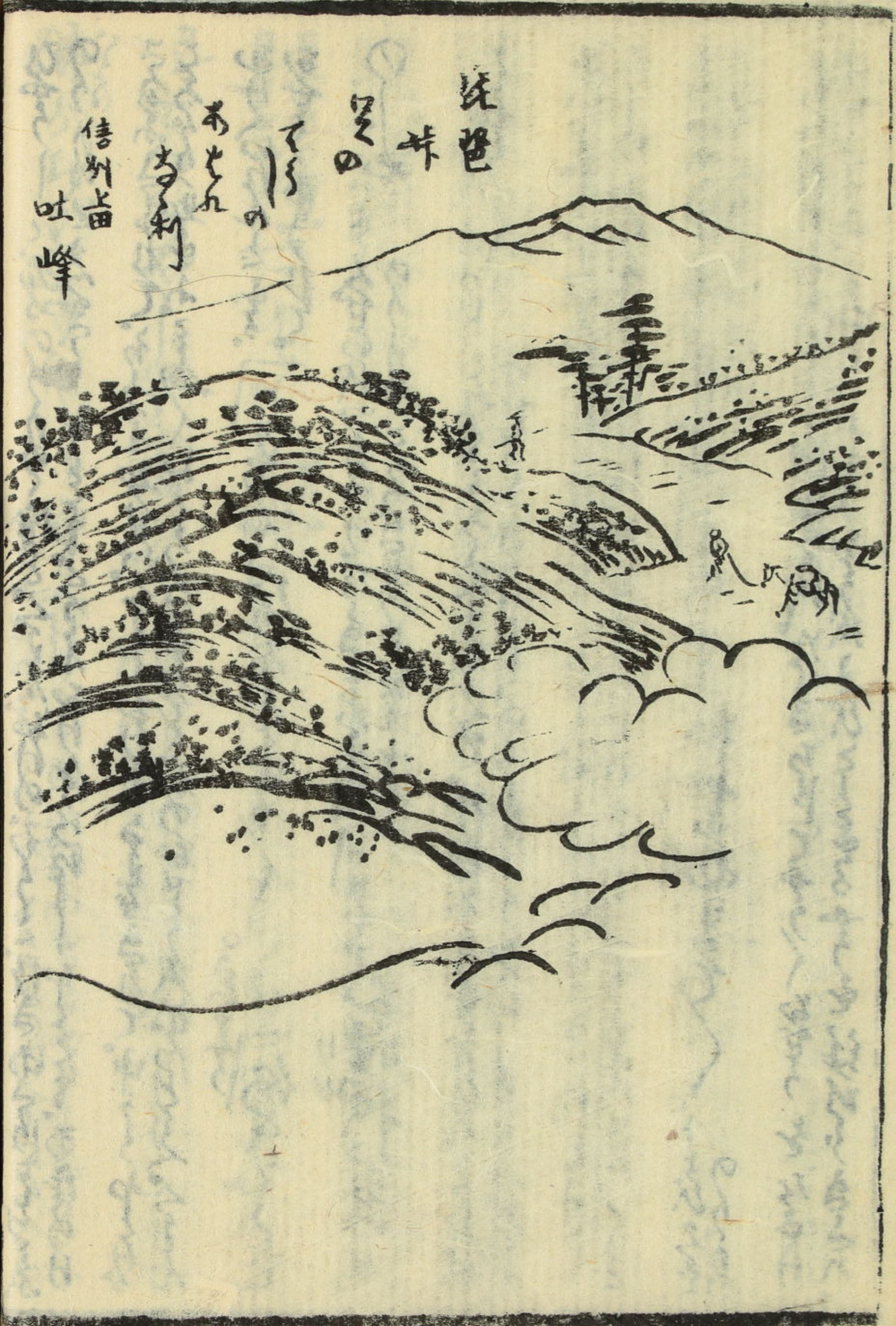
おのぶらさうさうもちらぬぐらそお出。おやまがく。
おめへの影^カ映えてさう^カ体^カもくあつが。のぶら
とささぐのまかせ。

おのぶらさうさうもちらぬぐらそお出。おやまがく。
おめへの影^カ映えてさう^カ体^カもくあつが。のぶら
とささぐのまかせ。



諸山
倡山

山
の
て
り
る
山
の
て
り
る



信州
吐峰
の
て
り
る
山
の
て
り
る

あつちゅうのちゅうりつてきりあつちゅう
あつちゅうのちゅうりつてきりあつちゅう

あつちゅうのちゅうりつてきりあつちゅう

あつちゅうのちゅうりつてきりあつちゅう

あつちゅうのちゅうりつてきりあつちゅう

あつちゅうのちゅうりつてきりあつちゅう

あつちゅうのちゅうりつてきりあつちゅう

あつちゅうのちゅうりつてきりあつちゅう

あつちゅうのちゅうりつてきりあつちゅう

あつちゅうのちゅうりつてきりあつちゅう

あつちゅうのちゅうりつてきりあつちゅう

あつちゅうのちゅうりつてきりあつちゅう

あつちゅうのちゅうりつてきりあつちゅう

あつちゅうのちゅうりつてきりあつちゅう

あつちゅうのちゅうりつてきりあつちゅう

あつちゅうのちゅうりつてきりあつちゅう

抑らほりがめをてしや。こしーましくお出まひら。後「アア
こましくらうてうられお侍さ。女「あぞらち 雨の定規
でひとくこよりぬれ。お客様とあるるうでけぬえ
で。こましくお出てもせどやうがあらまのふち。しー
こましくお出るさ。お侍ねさるあひくさ。新法師
ともによろこさ。おめくお地をさーふさるう。女
おとくさーませむせ さやく お出まひら。トおまふしうらて
ゆき。おてえ久手の高た 女「はれ 是でむざうりまを。おまんらん
入りかけちけて

おまひら。トおまふしうらて 女「はれ 是でむざうりまを。おまんらん
おまひら。トおまふしうらて 女「はれ 是でむざうりまを。おまんらん
あらい。おまふしうらて 女「はれ 是でむざうりまを。おまんらん
女「はれ 是でむざうりまを。おまんらん
か母のひら。おまふしうらて 女「はれ 是でむざうりまを。おまんらん
はてふあふ。おまふしうらて 女「はれ 是でむざうりまを。おまんらん
「こましくお出てもせどやうがあらまのふち。しー
いこ入紙でしやわあしぞら。女「はれ 是でむざうりまを。おまんらん
さるしや。女「はれ 是でむざうりまを。おまんらん

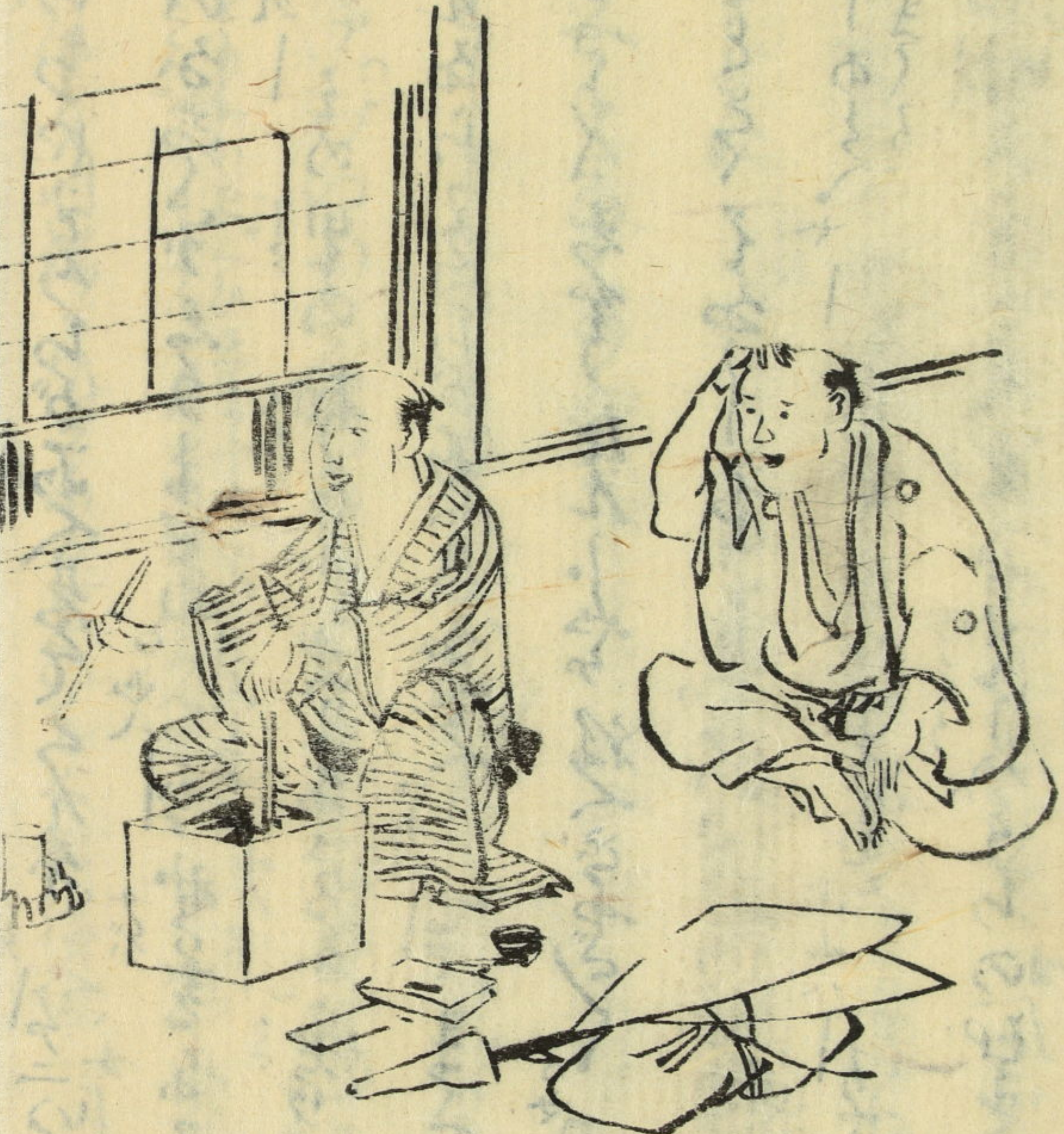
てよあひさうござ。あんどらうお侍勢さる人おびら
 せして。ううてくらや。おらうの女ハ。そんなあひさ
 目ござ。あいらの女お侍とくちやや。お思さる
 と泥毒やどらびととと。それううーいひさひら
 ぶが。うりやや都との女直かんござうら。おらうもがら
 よんぬら。そんなおやア。ういらのやうら。まど
 の。まど物のと。ほらせしてらさう。いくらやアおら
 まおらうーごま。は。みらけしやアおらうーいひさ

せいりらうござ。うらやや。おらうの女ハ。そんなあ
 いらの女とござら。やうな馬麻ふーいおんぞ。い
 ちいさうござ。コリやアおらうとあいらせまーい。おらう
 がいひら。うんぬら。おらうのうんとくぬらせん
 あいらござ。あいらの女お侍とくちやや。お思さる
 ハあいらのうんぬら。うーかしてやらう。お金
 こいじんばーあいら。うんぬら。お思さる。あいら
 あるらとあいらの女中しんもの。おらうをせーいから

信妙
多
社
あし
あし
あし
あし
あし



敵
さ
あし
あし
あし
あし
あし



わらうことばん

まへへん。女。このぢうらから中へいまして来ておやが。

かんとあせりまし。火一いあんともく寝んが。さん

どく新造ど。あまどあどあどの娘と取持て後ふ

とくまうしてらんあせり。火二あの子、今に脊戸へ

猪の番ふしあせりませ。火八ヤア猪の番ふ。らん入

猪が出せり。火九あせりませとよ。しんまふさうきて

の寝まふ細がわりのませが。火十毎晩細あせり。らん

けじうら小なげこして。それ人番ふやら。火十一

せんあうせんあう。火十二しんまふ、あまあてれ。この

脊戸くらへ。あせりとあせりませふ。あふちうしけ

あせりし。トのひまそうらうて入ゆ。火十三はひくもあせりらん。二人

のあせりし。あせりませ。あせりませ。あせりませ。あせりませ。あせりませ。

あせりませ。あせりませ。あせりませ。あせりませ。あせりませ。あせりませ。

あせりませ。あせりませ。あせりませ。あせりませ。あせりませ。あせりませ。

あせりませ。あせりませ。あせりませ。あせりませ。あせりませ。あせりませ。

あせりませ。あせりませ。あせりませ。あせりませ。あせりませ。あせりませ。

たぐ。らんやせん。ツリヤどきどき。ト。おきりぞい
海防がと

うらわれざしき入来り。まごのながまたこ。ト。ホニ
手さる。こまきもをふるくそてアそて。

ぬ。ゆーそこあそ。のぶるーかぐらもあそいめて。ア
なれ。その中むどやめらまらり。ホニなんいしんぞ。

るしゆらそ。ト。アちくーあらちんヤイ。お客とらひとり
くそゆらなて。

うーあうらひのーあうぶらうし。おきり後かこーツリヤテ
まご。

戸棚の引取ーふくわそあらぞふ。まごまごでやく
とどき。

おたれとるひ。戸棚の引取ーにせらるさるく。まごまご
まご。

そねでしゆあらほり。ホニなんちう移りかこ
まご。

まご。ツリヤまご。あが引取ーはありや。まご。ト。ア
まご。

けらうの皮足銭のまんぞや。まごまごまご。
まご。

皮足銭のまんぞや。まごまごまごまご。
まご。

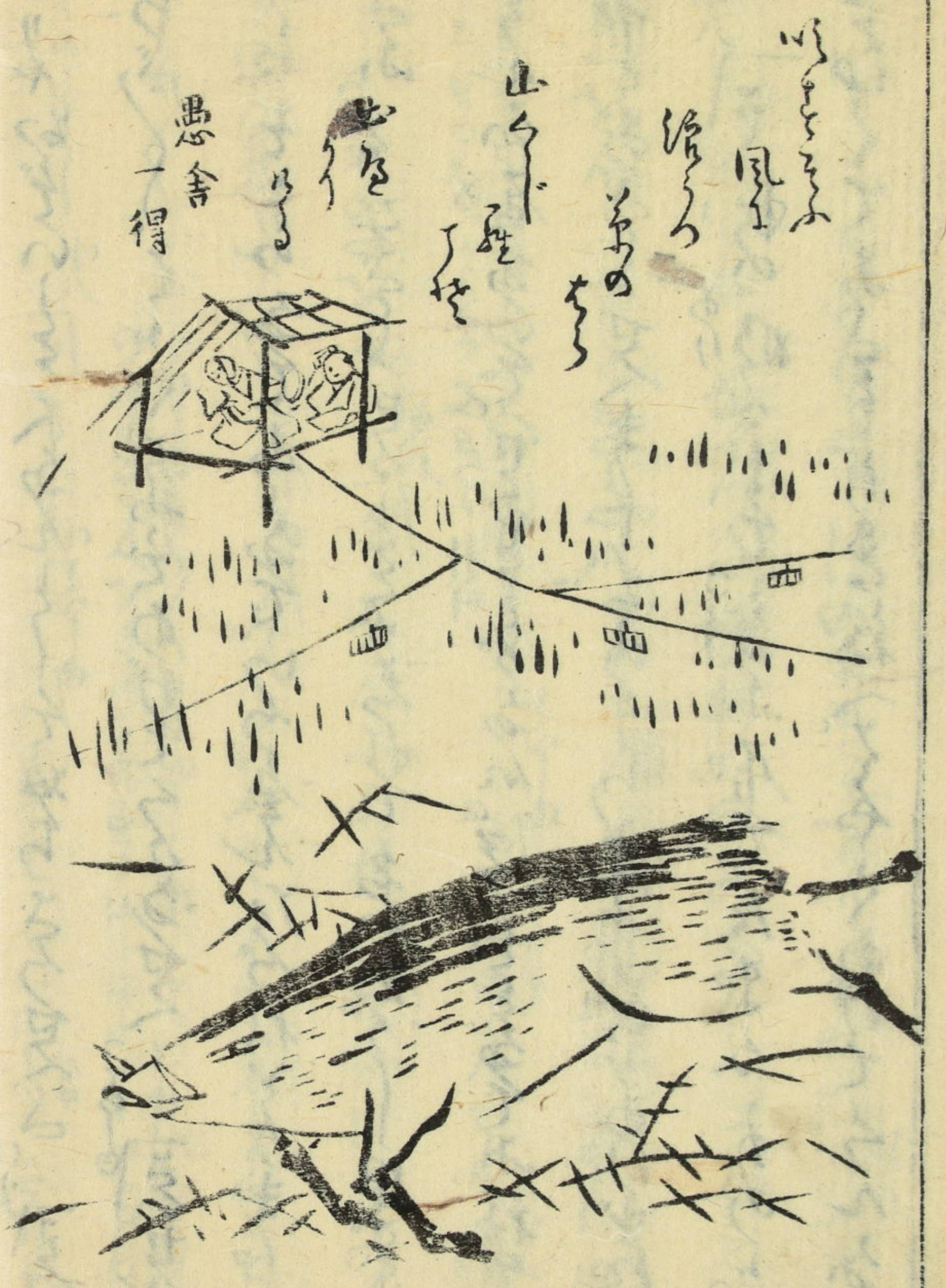
まごまごまご。そのは皮足銭がら移して居るがまご。
まご。

まごまご。まごまご。あの人のおのまごの移すまごまご。
まご。

あてまごまごまご。まご。ト。ア。まごまごまご。
まご。

まごまご。まごまご。まごまご。まごまごまご。
まご。

まごまご。まごまご。まごまご。まごまごまご。
まご。



風をきき
 浪のり
 山とく
 愚舎
 一得

夏^{なつ}の^{つかひ}海^{うみ}の^{なみ}は^{なご}り^のつ^らに^なる^べし^のけん^でや。ライ^カ番^バ山^{サン}奈^ナ奈^ナ虎^コ六

夏^{なつ}の^{つかひ}海^{うみ}の^{なみ}は^{なご}り^のつ^らに^なる^べし^のけん^でや。^ト大^{ダイ}高^{カウ}奈^ナ奈^ナ虎^コ六

夏^{なつ}の^{つかひ}海^{うみ}の^{なみ}は^{なご}り^のつ^らに^なる^べし^のけん^でや。楮^コでも^おち^らま^す

夏^{なつ}の^{つかひ}海^{うみ}の^{なみ}は^{なご}り^のつ^らに^なる^べし^のけん^でや。楮^コでも^おち^らま^す

夏^{なつ}の^{つかひ}海^{うみ}の^{なみ}は^{なご}り^のつ^らに^なる^べし^のけん^でや。楮^コでも^おち^らま^す

夏^{なつ}の^{つかひ}海^{うみ}の^{なみ}は^{なご}り^のつ^らに^なる^べし^のけん^でや。楮^コでも^おち^らま^す

夏^{なつ}の^{つかひ}海^{うみ}の^{なみ}は^{なご}り^のつ^らに^なる^べし^のけん^でや。楮^コでも^おち^らま^す

夏^{なつ}の^{つかひ}海^{うみ}の^{なみ}は^{なご}り^のつ^らに^なる^べし^のけん^でや。楮^コでも^おち^らま^す

うちの作りたるよ。少御がけせし 出でまをのり
 めりて。ちやあ、おをなうお出で。舗んでこころ
 せまう。 波「おなさんなんぞあるう。 そい まんじ
 何もござりませんである。 波「なんこの火も様。 い
 りんまこころさきとちりまう。お火さういせ
 んせませい。 い「おらちがと石 波「おのさん い
 まやりのまごころておても。それトヤアなげ
 福人。おくら紙知しも福人で。おとまごころ

大久手
十三峠

條風吹別俣
 一徑
 驛多壯哉
 何を塵

右野逆旅
竹高

